

各位

菟山信用金庫

金融仲介機能のベンチマークの一部訂正について

2019年1月25日付で公表した「金融仲介機能のベンチマーク」の数値につきまして、下記のとおり一部誤りがありましたのでお詫び申し上げますとともに訂正させていただきます。

尚、ホームページの金融仲介機能のベンチマーク（「金融仲介機能の発揮に向けた取り組みについて」平成30年3月末基準の取り組み実績）につきましては、訂正後で掲載しております。

記

〔訂正箇所〕

（菟山しんきんのお知らせ）2019年1月25日付「金融仲介機能のベンチマーク（平成30年3月末基準）の開示について」で公表した資料（「金融仲介機能の発揮に向けた取り組みについて」平成30年3月末基準の取り組み実績）の次の箇所です。（_____部訂正）

- ・ **共通ベンチマーク**（1）取引先企業の経営改善や成長力の強化（P. 2）
- ・ **選択ベンチマーク**（1）地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション（P. 3）

（訂正前）

共通ベンチマーク

全ての金融機関が金融仲介の取り組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能なベンチマークです。

(1) 取引先企業の経営改善や成長力の強化

○当金庫がメインバンク（融資残高1位）として取引を行っている企業のうち、経営指標の改善や就業者数の増加が見られた先数（先数はグループベース。以下断りがなければ同じ）、及び、同先に対する融資額

	29年3月末現在	30年3月末現在
メイン先数	714先	<u>657先</u>
メイン先の融資残高	345億円	<u>301億円</u>
経営指標等が改善した先数	149先	<u>203先</u>
	29年3月末現在	30年3月末現在
経営指標等が改善した先に係る事業年度末の融資残高	110億円	<u>97億円</u>

（訂正後）

共通ベンチマーク

全ての金融機関が金融仲介の取り組みの進捗状況や課題等を客観的に評価するために活用可能なベンチマークです。

(1) 取引先企業の経営改善や成長力の強化

○当金庫がメインバンク（融資残高1位）として取引を行っている企業のうち、経営指標の改善や就業者数の増加が見られた先数（先数はグループベース。以下断りがなければ同じ）、及び、同先に対する融資額

	29年3月末現在	30年3月末現在
メイン先数	714先	<u>737先</u>
メイン先の融資残高	345億円	<u>335億円</u>
経営指標等が改善した先数	149先	<u>252先</u>
	29年3月末現在	30年3月末現在
経営指標等が改善した先に係る事業年度末の融資残高	110億円	<u>137億円</u>

(訂正前)

選択ベンチマーク

当金庫のビジネスモデルや経営計画等に基づき自主的に選択した「選択ベンチマーク」の実績です。

(1) 地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション

○全取引先数と地域の取引先数、及び、地域の企業数との比較（先数単体ベース）

〈省略：訂正ありません〉

○メイン取引（融資残高1位）先数、及び、全取引先数に占める割合（先数単体ベース）

	29年3月末現在	30年3月末現在
メイン取引（融資残高1位）先数	795先	<u>713先</u>
全取引先に占める割合	44.1%	<u>40.7%</u>

(訂正後)

選択ベンチマーク

当金庫のビジネスモデルや経営計画等に基づき自主的に選択した「選択ベンチマーク」の実績です。

(1) 地域へのコミットメント・地域企業とのリレーション

○全取引先数と地域の取引先数、及び、地域の企業数との比較（先数単体ベース）

〈省略：訂正ありません〉

○メイン取引（融資残高1位）先数、及び、全取引先数に占める割合（先数単体ベース）

	29年3月末現在	30年3月末現在
メイン取引（融資残高1位）先数	795先	<u>831先</u>
全取引先に占める割合	44.1%	<u>47.5%</u>

以上